

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>バーナー・ソリッド / パール</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.530</b>	△RG <b>0.037</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：BURNER SOLID/PEARL**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離

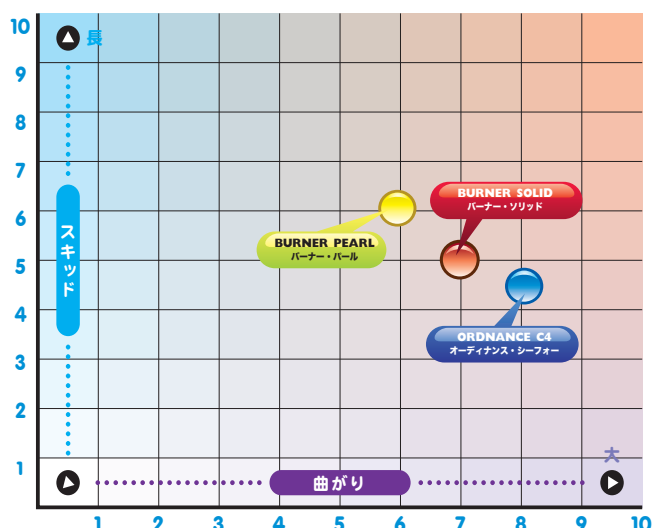
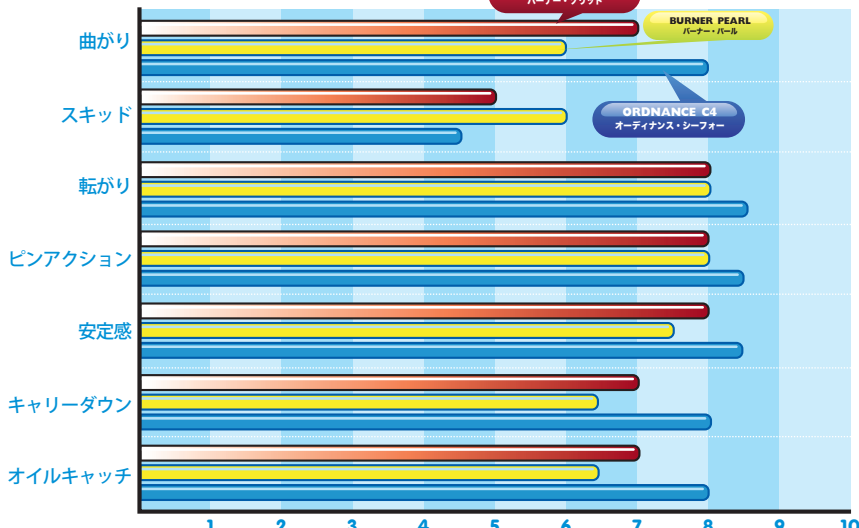
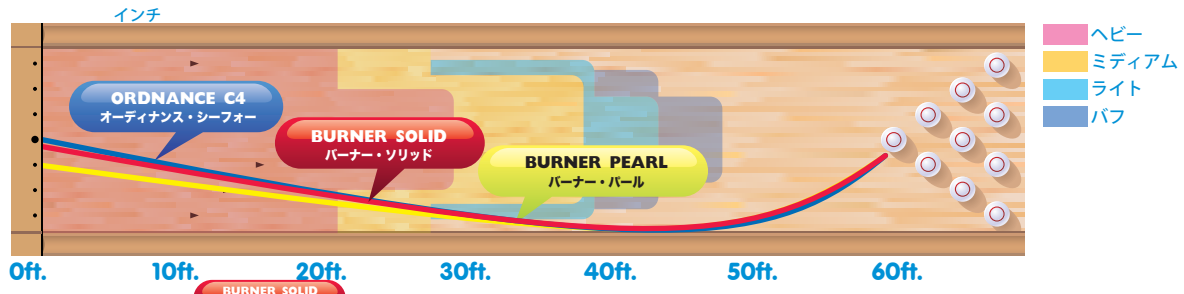
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：ORDNANCE C4**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

**ボールの評価**

900GLOBALでミディアムオイルからミディアムライトまでをカバーするために開発されたBURNERシリーズ。このシリーズは同じS62領域のカバーストックでSolidとPearlを配し、ORDNANCEやHONEY BADGERシリーズの次に使用できるように開発されました。カバーストック領域は900GLOBALの代表的なカバーであるGEAR等のS74カバー、HONEY BADGERシリーズのS71カバーの次に当たるS62カバーです。BURNER Pearlを投球するとS71カバーよりも走って領域通りに感じるのですが、BURNER Solidはかなりのオイルに対しての強さを感じ、S71のPearlよりはキャッチ力を感じました。900GLOBALのカバーストックの傾向ともいえると思いますが、HONEY BADGER INTENSITYにも感じたSolid素材が思う以上に反応が良く、起き上がりの俊敏さがリアクションに出ていて、角が見えるような傾向を感じます。このBURNER Solidにもその傾向が見られ、コアのポテンシャル的に強くはないのですがしっかりと向きが変わるのが投球するとみて取れます。一方BURNER Pearlは走りが重視され、柔らかい切れ味をバックエンドで見ることができます。私はBURNER PearlとBURNER Solidでこれぐらいの運動差があるのであれば、コストパフォーマンス的に二つ持つのも手だと思えます。ややオイルを感じる時にはSolidを使い、そこからPearlに変更してラインをアジャストする。フランチャイズのコンディションであればこの二つのバージョンはかなり使い勝手が良い感じにも思えます。また軽量ポンド(10P)から取り扱いがあるので、ビギナーからステップアップの方、リーグボウラーからトーナメントプレイヤーまで幅広いニーズに応えられるでしょう。一つ言えるのは、「安い=パフォーマンスが足りない」というイメージはこのBURNER Solid/Pearlは無縁で、コストパフォーマンスでは上位に位置する性能と言えます。

**特記事項**

**S62カバーですが、思っている以上にキャッチを感じる上質な仕上がりだと思えます。価格帯に見合わない性能もおススメできますし、何より良いものをより安く提供できるのでこの機会にぜひご検討ください。**